

人の気持ちが分からない

かがやき教室に通って来る子の中には、
「人の気持ちが分からない。」
と言われる子が何人かいます。なぜ分からないのでしょうか。

それは、
「他者が自分とは違う心理を持っている」ことが分からない。
つまり、
「他者は自分と違うことを考えている（思っている）」ことが分からないのです。

例えば、右のような問題を出した時、普通は、5歳ぐらいから正しく答えられます。（4歳では答えられない。）

ところが、中には、小学生になっても答えられない子がいます。サリーの立場で考えられないので、

「ビー玉は箱の中にあるから、箱を探す。」となるのです。

このような子は、

- ・他人の視点に立つことが苦手。
- ・相手の気持ちを理解できない。
- ・言葉を字義通りに解釈する。
- ・言葉の真の意味が分からない。
- ・場面理解が弱い。
- ・しつこく相手の嫌がることをする。

などの行動が起こり、トラブルになってしまいます。

そこで、かがやき教室では、

「自分と他の人は考えることが違う」ことを学習しています。

カードやプリントを使って場面を設定し、登場人物たちそれぞれの気持ちを考えます。立場によって考え方が違うことを学習します。

それに、同じ人でも、その場の様子や相手の対応によって気持ちが変わることも学習します。

「Aさんが持っている本を読みたいと思った時、どのように頼めばよいのでしょうか？」などと問題を出します。上手に頼むことができれば貸してもらえますが、声のかけ方が悪いと貸してもらえません。貸してほしいのは自分ですが、Aさんの立場に立って、

「どう言えば貸してあげようと思えるのか」を考えます。

相手の立場に立って考えることは、社会生活を営む上でも必要なことです。他者とのよりよい関わり方を身に付けるために、このような学習を続けていきます。



12月9日～12月26日の予定

さんのかがやき教室の学習は

月 日 () 時間目

月 日 () 時間目

です。

